

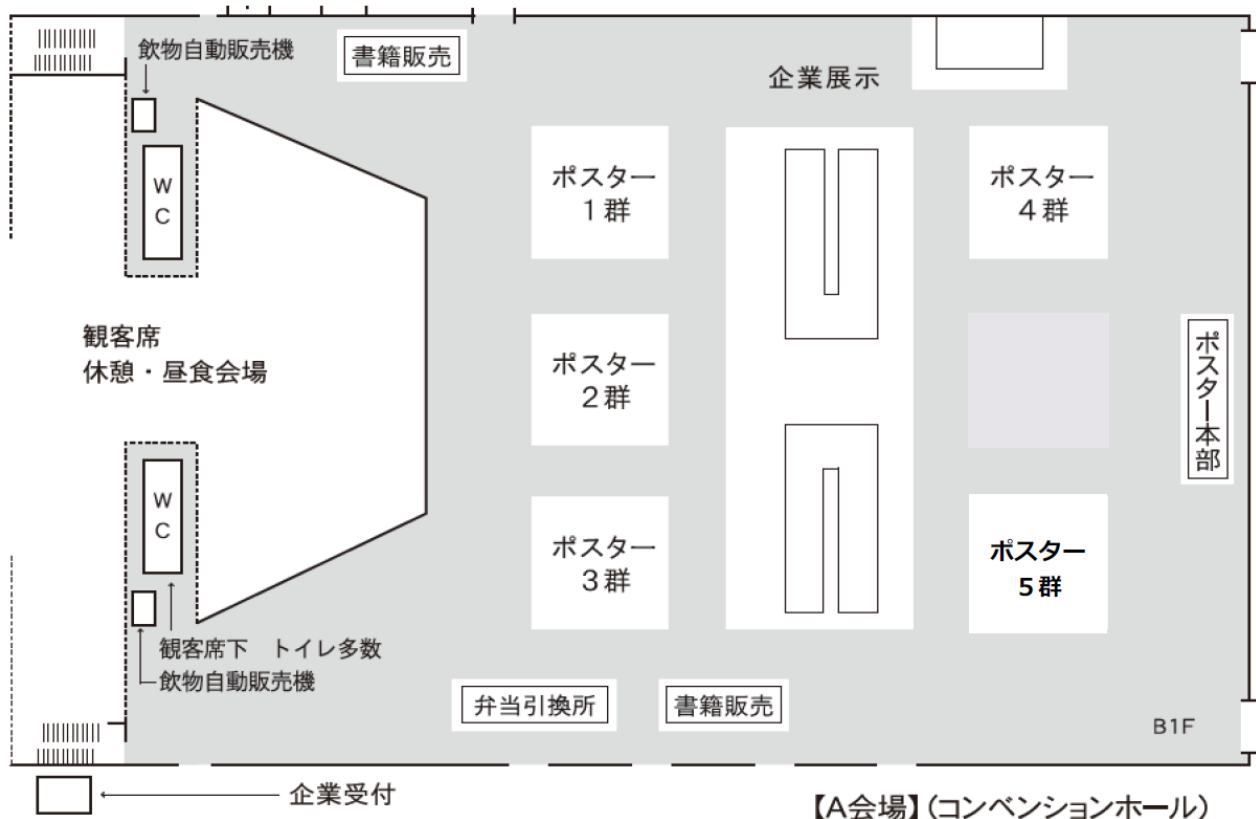
る場合があります。

座長連絡事項（ポスター・1群）

《連絡事項》

1. 12時50分より発表会場にてオリエンテーション。ポスター会場の担当座の先頭パネル前に集合してください。スタッフからの説明、および発表者との打合せがありますので、必ずご出席ください。プログラム変更の有無（取り下げ、欠席などによる時間変更等）があった場合はここでお知らせします。
2. 開会式は13時05分、第1座開始時間は13時10分です。
3. ご担当される座の開始10分前までに会場内の担当座のパネル前にお越しください。
4. 発表開始。発表時間7分、質疑応答3分。
5. 『記章』は退会時にエントランスホール内の総合案内までご返却ください。
※手荷物がある場合は、16時10分までクロークの使用が可能です。地下リハーサル室（役員控室）へお越し下さい（抄録集裏表紙参照）。16時10分以降は、大会本部にてお荷物をお受け取り下さい。

【ポスター会場レイアウト図】



※裏面にプログラム掲載

※これは6月21日現在のプログラムです。当日変更になる場合があります。

第42回大分県病院学会

一般演題目次

【ポスターセッション1群 A会場：コンベンションホール】

分科会開会式 13時05分 1題持ち時間10分（発表7分・質疑3分）

演題 番号	【カテゴリ】 項目	演題 副演題	会員病院名 発表者 (職種)
1座 13:10～14:00 座長 山村 哲仁（黒木記念病院 教育課課長）			
A101	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	運動量向上に向けた当院通所リハにおける取り組み	桂林病院 池田 周平 いけだしゆうへい（理学療法士）
A102	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	繰り返す誤嚥に対し完全側臥位法の導入により自宅生活	大分記念病院 鷺野晋之亮 わしの しんのすけ（言語聴覚士）
A103	【治療・リハビリテーション】 維持期・生活期	自宅入浴自立を目指し作業療法介入した事例 ～デマンドを叶えるためにサービス利用からの再検討～	サンライズ酒井病院 保木 伸吾 ほきしんご（作業療法士）
A104	【治療・リハビリテーション】 急性期	足関節脱臼骨折術後に早期荷重を行った症例	膳所病院 姫野 由成 ひめの よしなり（理学療法士）
A105	【治療・リハビリテーション】 急性期	シャント血管治療における感染管理	大分記念病院 佐藤 結紀 さとう ゆき（看護師）
2座 14:00～15:00 座長 佐々木紘幸（諏訪の杜病院 リハビリテーション部主任）			
A106	【治療・リハビリテーション】 その他	外国人患者の療養生活を支援しての学び	川罵整形外科病院 清水香菜子 しみずかなこ（看護師）
A107	【治療・リハビリテーション】 その他	肩腱盤断裂に対してEMSを用いた症例	高田中央病院 中島 忠伸 なかしま ただのぶ（理学療法士）
A108	【治療・リハビリテーション】 その他	当法人におけるひきこもり状態にある当事者等への支援 —KJ法を用いた支援方法の分析—	衛藤病院 岡部 航大 おかべこうだい（臨床心理士・公認心理師）
A109	【治療・リハビリテーション】 その他	脊髄障害児のJ-STARプロジェクトへの挑戦 ～車いすスポーツ活動における今後の展望～	明野中央病院 鞭馬 貴史 むちま たかし（理学療法士）
A110	【治療・リハビリテーション】 その他	食べる楽しみを届けたい！ ～イベント食の取り組み～	児玉病院 後藤安優美 ごとう あゆみ（言語聴覚士）
A111	【治療・リハビリテーション】 その他	骨盤前傾促進により立ち上がり動作が改善した症例	黒木記念病院 追立 亮輔 おいたてりょうすけ（理学療法士）
3座 15:00～16:00 座長 平岡 淳也（黒木記念病院 教育課副主任）			
A112	【治療・リハビリテーション】 回復期	尿管カテーテル抜去後の排尿自立支援 ～排泄ケアチームによる取り組み～	大分記念病院 島崎亜紗美 しまざき あさみ（看護師）
A113	【治療・リハビリテーション】 回復期	自宅退院困難と思われた症例に対するチームアプローチ	大分リハビリテーション病院 中尾 博美 なかおひろみ（看護師）
A114	【治療・リハビリテーション】 回復期	大腿骨転子部骨折術後患者の温泉施設再利用を目指して	明野中央病院 津田 愛怜 つだ えれん（作業療法士）
A115	【治療・リハビリテーション】 回復期	右片麻痺を呈した症例への更衣自立に向けた介入 ～認知症により新たな動作習得に難渋した一例～	別府リハビリテーションセンター 戸高 綾 とだかあや（OT）
A116	【治療・リハビリテーション】 回復期	中殿筋に着目し歩容の改善を図った症例 ～ウェルウォークWW-2000を用いて～	黒木記念病院 大場 弘人 おおば ひると（理学療法士）
A117	【治療・リハビリテーション】 回復期	回復期リハ病棟でのプロテイン提供による筋肉量の推移	黒木記念病院 吉賀 桃子 よしが ももこ（管理栄養士）